

## 「みんなの建設業☆就職フェスタ」を開催しました

当会は、2016年3月11日(金)、一般社団法人東京建設業協会と共催し、建設業界への就職を目指す学生のための合同企業説明会「みんなの建設業☆就職フェスタ」を、池袋サンシャインシティ文化会館4階で開催しました。参画した両会の会員企業は88社。2017年3月卒業予定の学生は約400名が参加し、盛況のうちに幕を閉じました。



賑わいをみせる池袋サンシャインシティ文化会館4階の会場。

### ■建設業界全体の可能性を理解する

はじめに、株式会社マイナビの編集長の吉本隆男氏と、日本マルチメディア・エクイップメント株式会社の代表取締役である高田守康氏による2つの講演会が行われました。

吉本氏には、2017年の就職活動の動向について講演いただきました。今年は、経団連加盟企業を中心に、面接などの選考開始時期が従来の8月から6月へと2カ月前倒しになります。そのため、採用情報の公開がされる3月からの3カ月で志望企業の選択から筆記試験対策、エントリーシートの作成までを行う必要があります。短期間でいか

に企業研究をするか、企業研究のポイントとなるSWOT分析の方法を解説する場面もありました。また、単一になりがちな志望動機について、「企業が求める人物像をよく理解したうえで書くこと」といったアドバイスもされていました。

高田氏には、建設業の現状と今後について講演いただきました。人命と財産を守っている業界の意義や魅力だけでなく、時代とともに建設投資額がどのように推移したかを業界の背景、具体的な仕事内容を交えて解説されました。未来都市東京についても語られ、学生たちは興味深く耳を傾けていました。



株式会社マイナビ 吉本隆男氏の講演。



「出会いのカード」に記入をする学生。



少人数制のため、一人ひとりとの距離が近い。

### ■東京建設業協会 飯塚会長からのメッセージ

2つの講演会の後、東京建設業協会の飯塚会長より「建設業は夢をカタチにしていく仕事。講演会を通して業界で働く『やりがい』を知っていただけたと思うので、ぜひ多くの企業を回って実際の仕事内容や魅力を感じてほしい」と参加者たちにメッセージを送られました。

### ■自分に合う会社と出会うために

講演会終了後、合同企業説明会が行われました。初めは、入場時に配布した「出会いのカード」を使って規模や事業領域の異なる3社を指定する「出会いの3社」という形式で行われました。

先入観なくさまざまな会社と出会うことで、あ

らゆる角度から業界と仕事を理解してもらうことが目的です。また、4社目以降は自由に訪問することができ、さらに広く建設業で働く魅力を理解できるようになっています。各ブースでは、プロジェクトや先輩社員の声を映像で紹介するなど、入社後を具体的にイメージしてもらう工夫がされ、質疑応答も活発に行われました。「少人数制で、質問にも丁寧に応答してもらえた」と学生も好印象を受けたようです。

参加した会員企業からは、終了後のアンケートで「学生が先入観を持たずにブースを回るので、企業としては非常にありがたい方法でした」といった感想が寄せられ、企業と学生、双方にとって意義深い説明会となりました。

# 平成28年度建設業新入社員研修会 基調講演

当会と一般社団法人東京建設業協会が共催した平成28年度建設業新入社員研修会(4月4日、5日開催)では、基調講演として当会の伊藤寛治会長が講師に立ち、「社会人・会社人・建設人として」と題して現場や会社で心がけることなどを249名の新入社員に語りかけた。

皆さんは、社会人であると同時に会社人であり、建設業を生業とする建設人としてもスタートを切りました。皆さんの心にとどめておいてほしいことをお話します。

まずは、思い・志を貫くことです。皆さんは建設業を志して入社しました。そこで何をしよう、何になろう、何をしたいと考えていますか。志を貫くことが、成功につながります。ここにイチロー選手の小学校の卒業文集を紹介します。彼は、小学校の6年生で「必ずプロの選手になる」と書き、それも「年俸1億円以上」と具体的な目標も置きました。全国大会では自分がナンバー・ワンだったというすごい自信もあり、夢の実現に対して冷静に考えています。

思い、志を貫くためにはどうするか。まず一つ目は、信条・目標を持ちましょう。志はできるだけ具体的な目標にして、そして地道に取り組んでください。「マイブーム」だけでは長続きしません。「資格を取る」でも「社長になる」でも良いのです。

二つ目は、あなたの会社の社是、社訓を確認しましょう。会社には必ず、理念、方針があります。その会社の経営方針を見て、共鳴して入った人もおられると思いますが、スタートにあたりいまい度、社是、社訓、経営理念を確認してください。

三つ目は、企業は組織だということです。一人ひとり頑張っているだけでも、連携が取れていなければ、「1足す1」はせいぜい2しかありませんが、連携があれば、「1足す1」が3にでも4にでもなるのです。建設業は多くの人が皆で力を出し合っつくる仕事ですので、連携が不可欠です。

社是・社訓の話に戻ります。社是とは、経営上

の方針・主張です。社訓は社員として守るべき理念や心構え、戒め。経営理念は企業行動における基本的な信念や行動基準です。少しずつ違いはありますが、どれも会社の考え方を示しており、何のために経営するのか、どのような社員を求めているのかといった企業・社員の道しるべです。

ではなぜ社訓が必要なのか。理由の一つは、基本的な指針を示しておくことで、経営がブレないための戒めです。社会に対する宣言の意味もあります。二つ目の理由は、精神面の支柱にすることです。モチベーションを高め、安心感を生みます。三つ目は、共通の価値観の醸成です。社員全員のベクトルが合っていないと、成果は上がりません。その価値観を示しており、社員を評価する物差しでもあります。

さて、ものづくりの最前線は現場です。施工の



東京土木施工管理技士会会長  
一般社団法人 東京建設業協会副会長  
伊藤 寛治 (飛鳥建設株式会社 代表取締役社長)

管理で大事な事を私の経験から4点ほど話します。

まず「顧客の立場に立つ」こと。携わる工事の目的、条件、施主、発注者のこだわりを十分確認してください。二つ目は、「現場で考える」ことです。トラブルの原因分析や技術的検討は、必ず「現場」で考え対応してください。事務所の机や電話だけでは、本当の解決策は打てません。三つ目は、「自分の役割を認識」することです。それには一つ上の上司の目線や立場で考えることが必要です。上司は自分より経験も深く、周囲の状況を考えて指示を出すはずで、上司に反発する人、不平の多い人に成長はありません。素直に聞く耳を持つことが、その人自身を成長させます。四つ目は、「組織で動く」ことです。現場は日々刻々と変わります。情報を密にして組織として動くことが建設業には不可欠であることを肝に銘じてください。以上の4点をしっかり心にとどめてこれから進んで頂きたいと思います。

次に「不言不実行」のすすめです。組織として動くことの重要性を説く例え話としてお話しをします。一般的には、有言実行が最も良いとされています。約束したことは必ず実行するという事です。次に良いとされるのは、不言実行です。やるべきことを黙々とすること。日本ではこれが最も好まれます。三番目は、有言不実行です。これは約束したのに何もしないこと。四番目は不言不実行です。思いもなく実行もしません。一般的には、一番ダメなタイプとされます。

しかし、建設業では、異なります。

最も良いことは有言実行であり、これは他産業と変わりません。ただ、最も悪いとされることは不言実行です。力を合わせてやるのが建設業です。黙って何かをすると事故につながり、工程に支障が出ます。トラブルのもとです。次に悪いのは、有言不実行です。指示されたのに、何もしないのも大問題です。二番目に良いことが、不言不実行です。できないなら最初からやると言わないことです。やっているはずが、やってイナイと、工程にも支障が出るほか多方面を裏切り、信頼関係をなくしてしまいます。みんなで決めたことは、ヤルということです。ミスやロスの原因はすべてがこれです。できないときは上司に相談しましょう。

そして皆さん、必要な資格を取りましょう。仕事で忙しくなりますが頑張ってお取ってください。

土木、建築、事務など職種が違うので、目標となる資格を確認してください。業務を進める上で必要な資格もあるし、より高度な仕事を任されるために取るべき資格もあります。業務の幅も広がるし、お客様や社内からの信頼を得てスムーズに仕事ができます。何より自信につながります。仕事以外にも誘惑は多いでしょうが、思い、志を貫くためにはチャレンジしてください。

次に「脱皮しない蛇は死ぬ」という言葉を紹介します。蛇は脱皮しないと大きくなれないし、繰り返すことで成長します。人も成長することが大事です。社会人になり環境が変化しますが、まずは環境に順応してください。ワガママは個性ではなく、真の成長にはマイナスとなります。重要なことは、イノベーションを続け、たゆまぬ努力をすることです。真剣に何かになりたい・やりたいと思っている人は、どうすればできるかを常に考え、動こうとします。しかし思いの薄い人は実行の難しさから考え、結局、途中で投げ出します。つまり“不足”の多い人は原因を誤解し、自分以外の周りの原因にすることが多いのです。ひとは「足るを知る」ことも大事です。

最後に、3Kの誇りについて話します。世間では建設業は「きつい・きたない・きけん」の3Kと言われていますが、ここにいる皆さんは、希望を持って建設業に入って来られたんだと思います。大変うれしく、頼もしく思います。私は今からここに示す3Kが、建設業の3Kだと思っています。

一つ目は、建設工事には『協力』して作り上げる喜びがあります。二つ目は、できあがった作品がわれわれに『感動』を与えます。三つ目は、できあがったものは社会への『貢献』そのものです。わたしはこれを誇りの3Kと読んでいます。「きつい・きたない・きけん」は、外部の人から見た偏見ではないでしょうか。一日も早く誇りの3Kを実感してくれることを期待しています。

今日、皆さんに色々お話しをしましたが、私自身も、いままで話したことを社会人として最初からできたわけではありません。幾度も失敗しました。皆さんのスタートに当たり、少しでも失敗を少なくして前向きに、積極的に、社会人・会社人・建設人としてスタートすることを祈っています。

## 平成28年度

## 講習会実施報告 (4月～5月分)

### 建設業法等講習会

日時 平成28年4月21日(木) 13時00分～15時30分  
 場所 アットビジネスセンター東京駅「302号室」  
 講師 佐々木 高志 氏  
 (国土交通省 関東地方整備局 建政部建設産業第一課課長補佐)  
 西村 泰夫 氏  
 (赤坂シティ法律事務所 弁護士)  
 内容 適正な工事施工のための建設業法／土木施工管理技士と法令遵守—具体的な裁判例についての解説—

### 安全管理講習会

日時 平成28年4月27日(水) 13時30分～16時30分  
 場所 アットビジネスセンター東京駅「302号室」  
 講師 久高 公夫 氏  
 (株式会社フジタ 安全環境部部长)  
 内容 元請事業者がおこなう統括管理とリスクアセスメント／最近の安衛規則改正の概要と解説



### 現場管理スキルアップ講習会

日時 平成28年5月12日(木) 13時00分～17時00分  
 場所 アットビジネスセンター東京駅「302号室」  
 講師 鈴木 正司 氏  
 (坂田建設株式会社 土木本部長兼東京支店長)  
 内容 監理技術者・現場代理人に必要な7のスキル／受注と利益を確保するための7のスキル／他



### 仮設構造物(土留め工)の設計講習会

日時 平成28年5月18日(水) 13時00分～17時00分  
 場所 アットビジネスセンター東京駅「302号室」  
 講師 藤田 淳 氏  
 (清水建設株式会社 土木技術本部技術計画部技術第2グループグループ長)  
 内容 土留め工の計画・設計／土留めの設計計算例(演習)

## 平成28年度

## 開催案内 (7月～9月分)

講習会名	実施月日	時間	会場
若手技術者のための コミュニケーション能力強化講習会	7月12日(火)	13:00～17:00	アットビジネスセンター東京駅 「302号室」
現場見学会 「横浜環状南線栄IC・JCT下部工事」	8月4日(木)	13:30～16:00	神奈川県横浜市栄区 田谷地先
コンクリート施工技術講習会	8月26日(金)	9:30～17:00	浜離宮建設プラザ10階 「大会議室」
1級土木施工管理技術検定 実地試験受験講習会	9月8日(木)～ 9日(金)	9:00～16:45	林野会館
	9月10日(土)～ 11日(日)	9:00～16:45	林野会館
環境管理講習会	9月28日(水)	13:00～17:00	アットビジネスセンター東京駅 「302号室」

# 東京土木施工管理技士会 設立20周年記念事業

## 一般向けパンフレットを発行しました

当会では、5月下旬に設立20周年事業の一環として、広く一般に土木を紹介するパンフレット「知っていますか？土木のこと。技術者のこと。」を発行しました。

本パンフレットは、手に取った方に「土木は日々の生活に密着した産業である」と気づいてもらうきっかけとなり、「土木」の役割や社会基盤を整備する「土木技術者」の存在を認識していただけるような構成としています。

導入部では「土木」の語源や「土木技術者」の説明、当会の活動内容を紹介します。中面では、暮らしのシーンと併せ、東京を中心とした土木構造物の役割を紹介するほか、実際に施工に携わった3名の土木施工管理技士取材し、仕事のやりがいや魅力を語っていただきました。

親しみやすいイラストとともに、私たちの暮らしと土木のつながりを紐解く内容となっており、イベントや教育機関での配布を予定しています。



## 写真コンテストを開催します

当会では、設立20周年を記念して「土木のある風景」写真コンテストを開催します。

全国どなたでも応募可能です。奮って応募ください。

(全部門で1人2点まで。同一作品の複数部門への応募は不可。)

### ■ 応募期間

平成28年8月1日(月)～9月30日(金迄) (当日消印有効)

### ■ 部門／撮影場所

- ①土木のある風景/撮影場所：全国
- ②東京の土木のある風景/撮影場所：東京都内
- ③土木工事現場の風景/撮影場所：東京近郊
- ④U-22/撮影場所：東京近郊

### ■ 賞

- ・最優秀賞 各部門1点 (賞状・5万円相当のQUOカード)
- ・優秀賞 各部門3点 (賞状・1万円相当のQUOカード)
- ・入選 各部門5点 (賞状・5千円相当のQUOカード)

協賛：一般社団法人東京建設業協会

後援：東日本建設業保証株式会社